

秦野市公共施設再配置計画 第2期基本計画（2021-2030） 後期実行プラン（2026-2030）

公共施設の再配置に関する方針（2021-2060）

“未来につなぐ市民力と職員力のたすき”

令和8年（2026年）3月
秦野市

第2期基本計画後期実行プランの策定に当たって

本市では、全国に先駆けて平成23年(2011年)3月に「秦野市公共施設再配置計画」を策定し、さらにその前年10月に策定した「秦野市公共施設の再配置に関する方針」とあわせて、第16回日本計画行政学会計画賞において最優秀賞を受賞しました。

当時まだ広く認識されていなかった「公共施設の更新問題」に着目し、「公共施設白書」による豊富な情報を基礎に、真に必要な公共施設サービスを将来にわたり持続可能なものとする重要性を示したものです。

第1期基本計画の計画期間満了に伴い、令和3年(2021年)5月には、令和3年度(2021年度)からを計画期間とする「第2期基本計画」を策定しました。

今回策定する「後期実行プラン」は、第2期基本計画の計画期間の後半である令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの具体的な取組を定めるものです。策定に当たっては、令和6年(2024年)9月に策定した「みんなで考えるみらいの学校整備指針」の内容を踏まえ、公共施設の削減目標を再計算しています。

第1期計画の策定から15年が経過し、人口減少や高齢化が進行する中で、本市の財政状況は一層厳しさを増しています。特に2030年代には、学校施設をはじめとする公共施設の建替え時期が本格化することから、この「後期実行プラン」に基づく5年間の取組は、今後の公共施設マネジメントを進めていくうえで極めて重要な期間となります。

公共施設の面積を削減しながら、必要な機能を維持していくことは容易ではありませんが、将来世代に過度な負担を残さないよう、公民連携をはじめとした様々な運営手法を積極的に活用し、着実に取組を進めてまいります。

目 次

まえがき

第2期基本計画後期実行プランの策定に当たって

第1章	ハコモノを直す [公共施設の再配置について]	6
1	「公共施設の再配置」とは	7
2	何を再配置するのか	9
3	なぜ再配置が必要なのか	11
第2章	ハコモノを視る [白書に見る公共施設の現状]	24
1	ストックの現状	25
2	コストの現状	29
3	地区別の公共施設の配置	37
第3章	ハコモノを描く [公共施設の再配置に関する方針]	42
方針1	基本方針	43
方針2	施設更新の優先度	43
方針3	数値目標	48
方針4	再配置の視点	52
視点1	「備えあればうれいなし」	53
視点2	「三人寄れば文殊の知恵」	54
視点3	「三方一両得」	55
視点4	「無い袖は振れぬ」	57
視点5	「転ばぬ先の杖」	59
第4章	ハコモノを導く [公共施設再配置計画]	64
I	構造及び期間	66
II	方針に基づく将来イメージ	67
第5章	ハコモノを練る [第2期基本計画・後期実行プラン]	70
I	第2期基本計画の構成	71
II	第1期基本計画の評価	72

Ⅲ	後期実行プランの策定に当たって	75
Ⅳ	総括的事項（第2期基本計画及び後期実行プラン）	77
Ⅴ	施設別事項（第2期基本計画及び後期実行プラン）	81
	計画対象施設	81
	第2期基本計画の見方	82
1	学校教育施設	83
(1)	義務教育施設	83
	小・中学校	83
(2)	その他の施設	88
	幼稚園	88
	教育支援教室いずみ	90
	訪問型個別支援教室つばさ	92
	はだのっ子キッチン（学校給食センター）	93
	はだのE-L a b（教育研究所）	94
2	生涯学習施設	95
(1)	公民館等	95
	公民館	95
	ほうらい会館	98
(2)	青少年用施設	100
	児童館	100
	曲松児童センター	104
	はだのこども館	106
(3)	文化・芸術施設	108
	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）	108
	図書館	110
	はだの浮世絵ギャラリー	113
	はだの歴史博物館（桜土手古墳展示館）	114
	宮永岳彦記念美術館	116
(4)	スポーツ・健康施設	118
	メタックス体育館はだの（総合体育館）	118
	カルチャーパーク	120
	N I T T A Nパークおおね（おおね公園）	122
	サンライフ鶴巻	124
	スポーツ広場・学校開放	126
	中野健康センター	128
	はだの丹沢クライミングパーク	130
3	庁舎等	132
(1)	本庁舎等	132

	本庁舎、西庁舎及び東庁舎	132
	連絡所	134
	環境資源センター	136
(2)	消防庁舎等	138
	消防庁舎	138
	消防団車庫・待機室	140
(3)	その他の施設	142
	市民活動サポートセンター	142
	放置自転車等保管場所	144
	秦野駅北口自転車駐車場	146
	自治会館	148
4	福祉施設	150
(1)	保育・子育て支援施設	150
	こども園	150
	児童ホーム	152
	ぽけっと21等	154
(2)	高齢者用施設	156
	広畑ふれあいプラザ	156
	末広ふれあいセンター	158
	老人いこいの家	160
(3)	その他の施設	163
	保健福祉センター	163
	青少年相談室	166
	歯科休日急患診療所	167
5	観光・産業振興施設	169
(1)	観光施設	169
	鶴巻温泉弘法の里湯	169
	名水はだの富士見の湯	171
	ヤビツ峠レストハウス	173
	表丹沢野外活動センター	174
(2)	産業振興施設	176
	田原ふるさと公園	176
	里山ふれあいセンター	178
	駐車場	180
	ふるさとハローワーク	182
6	公営住宅	183
	一般賃貸住宅	183
	ミライエ秦野	186

7	公園・緑地等	188
(1)	都市公園・緑地	188
	公園・緑地	188
(2)	その他の施設	190
	くずはの家	190
	蓑毛自然観察の森・緑水庵	192
8	低・未利用地	194
9	今後整備が予定される施設	195
	多世代交流施設（仮称）	195
	はだのスポーツビレッジ	196

第6章 ハコモノを活かす〔公民連携に関する実行プラン〕 ——— 198

1	これまでの取組	199
2	多様な公民連携手法	200
3	公民連携の実行プラン	201

附属資料 ————— 204

I	広報はだの 特集記事	205
II	公共施設フォーラム2020 開催結果	206
III	はだのこども館に係るWebアンケート調査実施結果	235

「秦野市公共施設の再配置に関する方針及び秦野市公共施設再配置計画」は、日本計画行政学会（昭和52年設立 会員数約1,300名）が実施する第16回計画賞にノミネートされ、平成28年（2016年）2月26日に中央大学駿河台記念館において開催された最終審査会において、最優秀賞（1位）に選ばれました。

この計画賞は、行政、民間を問わず優れた計画を発掘し、これを表彰することにより、社会全体の計画能力の向上を図る目的で、平成7年（1995年）に創設されました。



本市の方針と計画の内容が優れていること、また、様々な困難があることが容易に予測される中で実行し、一定の成果を上げてきたことに加え、人口縮減社会の中で全国の自治体が模範とするべきであること、などが受賞の理由となりました。